

中国 スマートサービスサミット 及び
2016年ソフトウェアと情報サービス国際企業交流会 報告
(2016年5月30日、中国・北京)

2016年5月30日、中国 北京国家会議センターにおいて、北京アウトソーシングサービス企業協会（BASS）が主催し、スマートサービスサミット及び2016年ソフトウェアと情報サービス国際企業交流会が開催された。テーマは「スマートサービスでビジネスをよりすばらしく、ITで流通を寄り簡単に」で、約200名が参加した。

北京市商務委員会代表者他の挨拶の後、まず、北京アウトソーシングサービス企業協会 鐘理事長より中国のアウトソーシングサービスのこの10年間の進展状況と今後について紹介が行われた。これまでのように、多くの人手による規模拡大や低価格競争を求めるのではなく、これからは、技術と知的財産をベースにしたサービスのビジネスモデルに変わっていくだろうとのことであった。

次に、JISA 大須賀正之 グローバルビジネス研究会 代表幹事より、日本のITサービス産業の概要について紹介を行った。日本でも、今後、IoT やスマートグリッドなどによる、スマートコミュニティの実現に向けて、他産業等とコラボレーションした新しいビジネスモデルに変わりつつあることを紹介した。



その他、ウーマートホールディングス社長による伝統的なITによる百貨店経営の再生について、またNTTデータ西村康宏氏より商業流通分野の新たな販売チャネルとしてのオムニチャネルについて、それぞれ講演があった。

さらに、インドNASSCOMと台湾IT化サービス協会も参加し、それぞれ情報サービス産業の現状について紹介が行われた。

同時期に開催されていた京交会には、各国からのブースに並び、日本からもJETROと東京都が出展し、ICT関連を含むサービス関連企業が展示を行っていた。



以上